

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-02-04
事務事業名	健康相談事業		
		根拠法令・要綱等	老人保健法
事業開始年度	昭和58年度～		
総合計画	大項目	基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	成人保健(歯科保健を含む)
	問合せ先	担当課(室)	保健課
		職・氏名	健康係長・白髭由美子
		電話	84-9113

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	40歳以上64歳以下の市民
目的(何のために)	壮年期からの心身の健康不安やストレスを解消することで、健康の保持増進を図る。
行政活動(どのような方法で)	愛育・栄養委員の協力を基に地域住民に回覧で呼びかけをして各地区公民館で各地区の現状や課題を保健師や栄養士が健康教育後、個別に健康相談を実施。地区によっては栄養委員による試食を実施。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	壮年期から市民自ら生活習慣における健康課題を認識して、生活習慣や食生活の改善等に取り組むことができ、自分の健康増進ができる人の増加。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	健康相談実施回数		回	175	76	81
	健康相談延参加人数		人	3,100	1,066	580
	直接事業費		千円	1,339	1,244	1,332
	人件費		千円	6,501	5,155	3,733
	事業費計			7,840	6,399	5,065
	国県支出金			576	354	208
	受益者負担					
	市一般財源		千円	7,264	6,045	4,857
	必要人員		人	1.06	0.90	0.71
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	健康相談延参加人数		説明	(40歳以上)	(40～64歳)	
	結果指標量	人	3,100	1,066	580	
	対前年比	%	-	34.4%	54.4%	
	活動コスト	円	7,840,000	6,399,000	5,065,000	
	単位当たりコスト	円	2,529	6,003	8,733	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	健康相談実施回数		説明			
	結果指標量	人	175	76	81	
	対前年比	%	-	43.4%	106.6%	
	活動コスト	円	7,840,000	6,399,000	5,065,000	
	単位当たりコスト	円	44,800	84,197	62,531	

事業の成果			
成果指標名	自分の健康維持のために、何らかの具体的な行動をしていない人の率	式又は説明	平成20年度備前市健康づくりに関するアンケート
成果指標量		17年度	18年度
対前年比			19年度
			17.6%(平成20年度)
到達目標値	健康ひそん21見直し、中間評価(平成20年度)において目標設定値を設定	到達目標年度	平成25年度



事業の目的、対象、内容を考えているが、目的・意図の観点から評価を行って下さい。



事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。



事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしております、削減余地は小さい	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを削減することは困難	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
職	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	
目標値	結果指標量		600人	結果指標量
	成果指標量		17.6%	

総合評価		評価区分 <A-E>	B
平成19年度より、働き盛りの壮・中年期が参加しやすい土曜日に開催を試みたが、実際の参加者はほとんどいなかった。壮年期から自ら健康課題を認識して、生活習慣や食生活改善等に取り組む市民が増加することにより、生活習慣病や介護予防、更に医療費の抑制に繋がるため、引き続き実施していく必要がある。健康不安に対する相談の場所として、健康相談は重要であり、愛育・栄養委員等を通じて広く呼びかけをし、壮・中年期に視点をあてたがビジュレーションアプローチに積極的に取り組む。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	健康に不安を感じている人が相談できる場の提供を充実させる。	随時	相談を必要とする人がタイムリーな相談をすることができる。

